

Neb:o

輸入販売元 **株式会社中塚小児車工業所**

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

受付時間 10:00～12:00 13:00～16:00

(祝祭日を除く 月～金曜日)



Neb:O

GrandePit

グランデピット

取扱説明書

身長
100~150cm

保証書付き

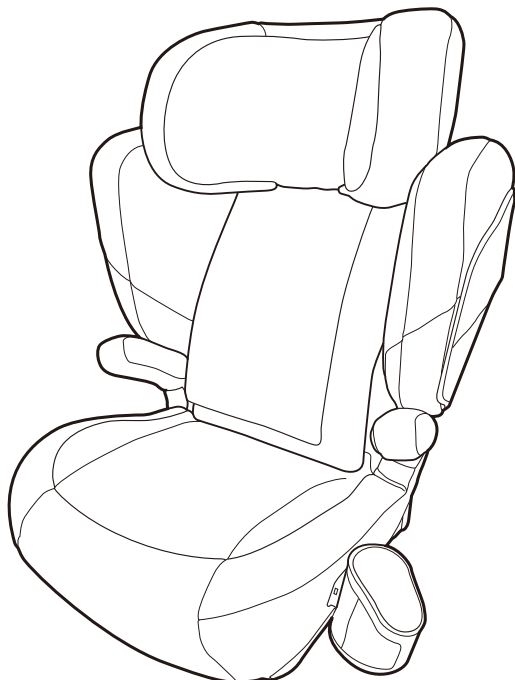
年齢
3歳半~12歳頃



ISO FIX

R129/03

100 ~ 150cm



ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート GrandePit< グランデピット >」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットにて大切に保管してください。

- 本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/03 に適合しており、身長 100cm ~ 150cm くらいまで(目安年齢: 3歳半 ~ 12歳くらいまで)のお子さまを対象としたチャイルドシート[車種別(特定車両用)ブースターシート]です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

- ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表については下記 URL より確認してください。




<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するとき必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『**危険**』、『**警告**』、『**注意**』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

目次

■ ご使用いただく前に	2
■ 表示について	2
■ 目次	3
■ 安全にご使用いただくために	4
■ 取付けできる座席	6
■ 取付けできない座席	8
■ シートベルトの種類と確認	9
■ 梱包内容	9
■ 開梱後の本体組立て方法	10
■ 各部の名称	11
■ カップホルダー	
■ 取付け方法	12
■ 取外し方法	12
■ ISOFIX の取付け方法	13
■ チェックリスト	15
■ ISOFIX の取外し方法	16
■ ヘッドレスト	
■ ヘッドレストの高さの目安	17
■ 調節方法	17
■ お子さまの乗せかた	
■ ISOFIX+ 車両シートベルトでの乗せかた	18
■ 走行前のチェックリスト(ISOFIX+車両シートベルト)	21
■ 車両シートベルトのみでの乗せかた	22
■ 走行前のチェックリスト(車両シートベルト)	25
■ シートカバーの取外し方法	
■ ヘッドレスト	26
■ 背もたれ	27
■ ブースターシート	
□ カバー取外し前の準備	28
□ 背もたれの取外し方法	28
■ シートカバーの取付け方法	29
■ 背もたれの取付け方法	30
■ お手入れ	
■ シートカバーの洗濯方法	31
■ 本体のお手入れ方法	31
■ 製品情報	
■ 本体サイズ	32
■ 材質	32
■ 保管方法	32
■ 廃棄方法	32
■ MEMO	33
■ 保証書	35

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。
衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- 使用条件に適合しないお子さまや、取付けできない座席などでは使用しないでください。
- 車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は、使用しないでください。
- お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰になったりしないように注意してください。
- 車両シートベルトが肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを確認してください。
- 車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- 車に取付ける際は必ず車両シートベルトで取付けてください。
- ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。
- 必ず肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。

緊急時

緊急時は、保護者の方が車両シートベルトを外してすみやかにお子さまを解放し車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席には取付けないでください。
- 2 ドアや3 ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。

注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバー等をかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載されていない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないように、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけの乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。

- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けしないでください。
チャイルドシートがしっかりと固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。



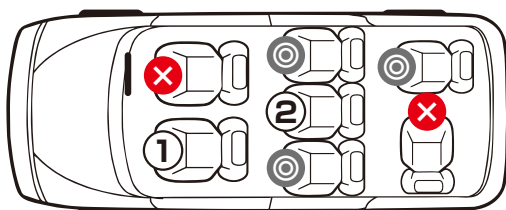
警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- 車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けしないでください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- 短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。

取付けできる座席

- 本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は [特定車両用] に分類されており、以下の座席位置に取付け可能です。



- ◎ 正しい設置位置
- ✕ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていなければ設置可能
- ② 3点式シートベルトと ISOFIX を装備している場合のみ設置可能

⚠ 危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- 3点式手動調節シートベルト
- 3点式巻取り装置付きシートベルト

⚠ 警告

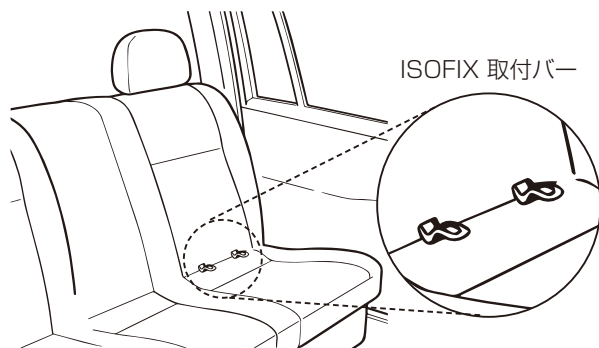
2点式シートベルトの座席では使用できません。

⚠ 警告

- 3点式シートベルトでお子さまを拘束してください。
- ISOFIX 取付けバーを装備した座席には ISOFIX 取付けをしてください。

本製品は ISOFIX 型チャイルドシートの取付けを認可された座席に取付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全ての車両に取付けられるものではありません。
ご使用いただく際は、必ず車種適合表で確認してください。



本製品は UN/ECE 規則 NO.16 準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。



警告

2点式シートベルトの座席には絶対に取付けないでください。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

車種適合表一覧は適宜更新しております。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用はしないでください。

- フロントエアバッグ装備の座席。
※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。
- 進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。
- 座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。
- 極端なバケットシート。
※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。
- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは
⇒車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。
- 座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。
- シートベルトに損傷がある座席。
- 座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



注意

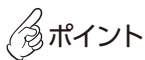
本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

シートベルトの種類と確認



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。
シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。

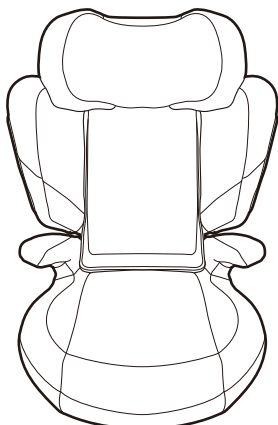


ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

梱包内容



本体



ドリンクホルダー



ISOFIX キャップ

開梱後の本体組立て方法

本製品は、背もたれとブースターシートが取り外された状態で梱包しております。ご使用前に背もたれとブースターシートを組立ててください。



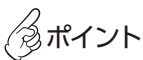
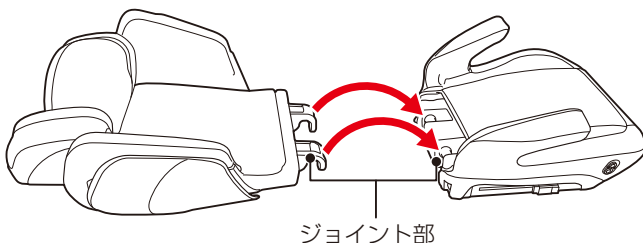
▶ 動画で解説
開梱後の
本体組立方法



注意

- お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。
※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。
また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行なってください。

①背もたれのジョイント部を、ブースターシートのジョイント部にあわせ、上からしっかりとめ込んでください。

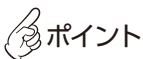


ポイント

カバーがはさまらないように注意してください。



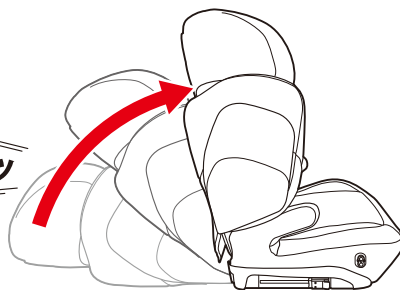
②固定されるまで背もたれを起こしてください。



ポイント

背もたれが起こしにくい場合は、カバーがはさまっていないか確認してください。

カチッ

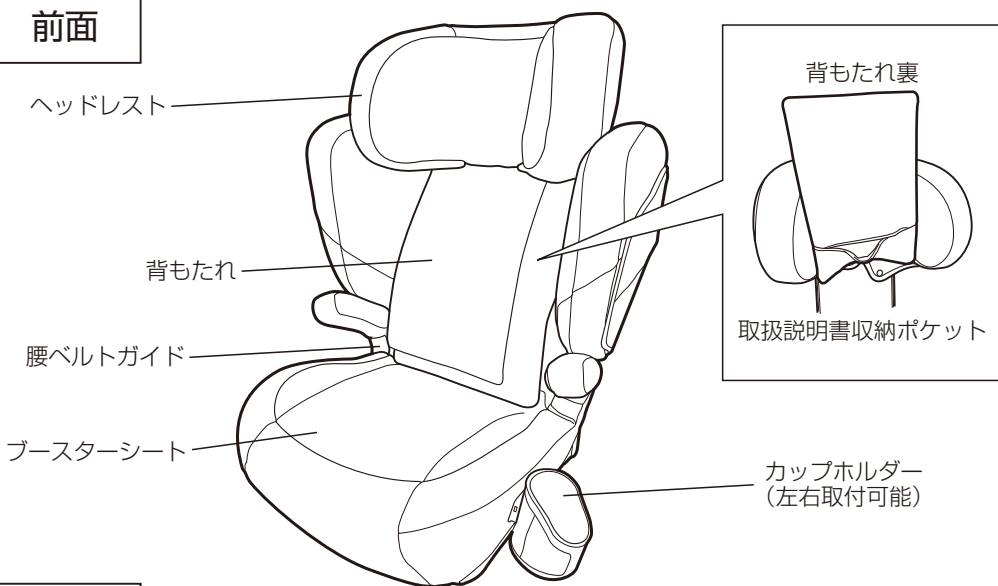


警告

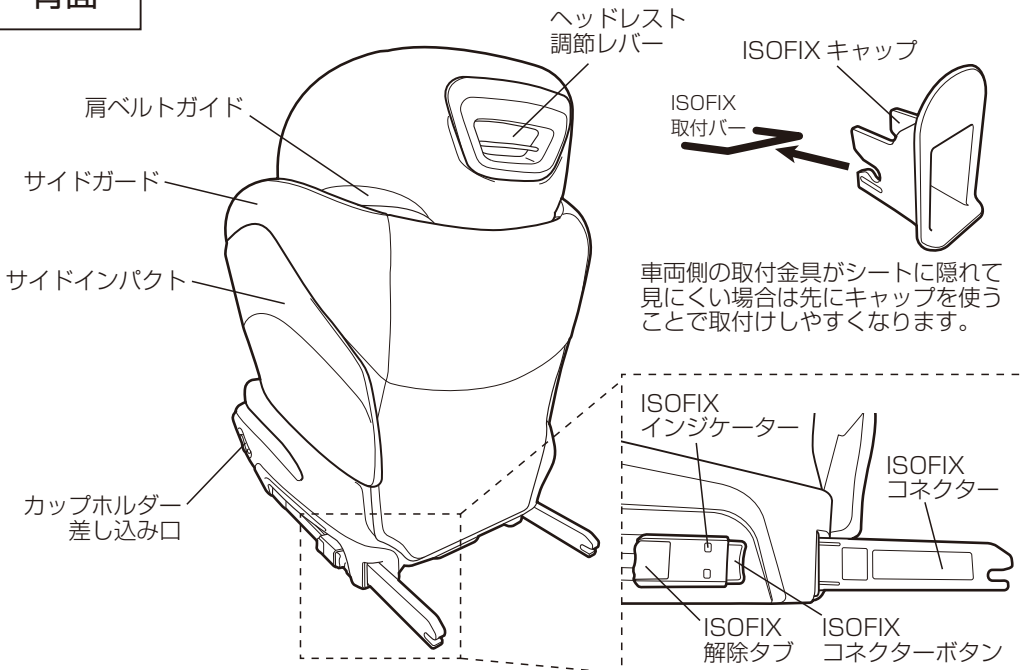
背もたれとブースターシートのジョイント部にカバーがはさまっていると背もたれが突然外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部の名称

前面



背面



カップホルダー

カップホルダーは左右どちらにも取付け可能です。

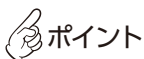


注意

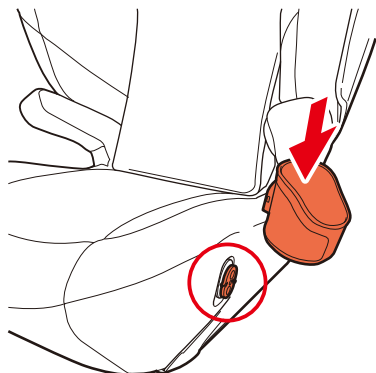
カップホルダーを付けた状態で上から過度に力を加えないでください。
カップホルダーと差し込み口が破損するおそれがあります。

取付け方法

カップホルダー差し込み口に、カップホルダーを上から差し込んでください。

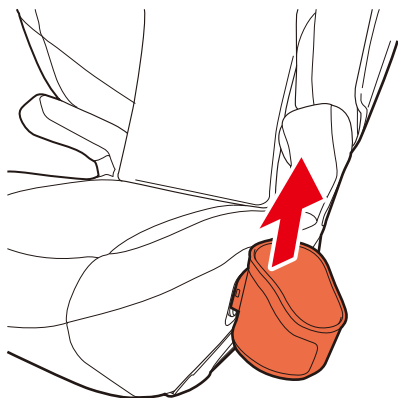


ポイント 外れないように奥までしっかり差し込んでください。



取外し方法

チャイルドシートを上から押さえ、カップホルダーを上を引き上げて取り外してください。



注意

取り外す際は、必ず上方向に引き上げてください。

※それ以外の方向に力を加えると、カップホルダーや差し込み口が破損するおそれがあります。

●500ml以上の飲み物は入れないでください。

●お子さまがカップホルダーに体重をかけないようにしてください。

●カップホルダー内の飲み物が安定していることを確認し、使用してください。

●カップホルダーに保冷・保温効果はありません。

飲み物をカップホルダーに入れた状態で車内に放置した場合、飲み物が熱くなる可能性があります。

ISOFIX の取付け方法

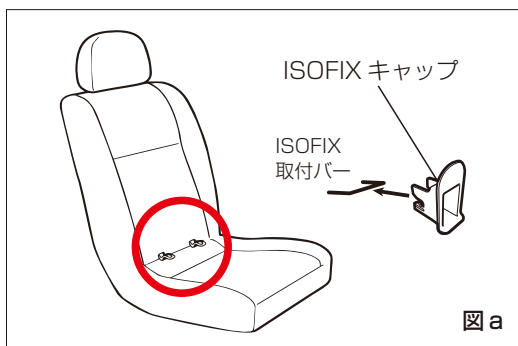


▶ 動画で解説

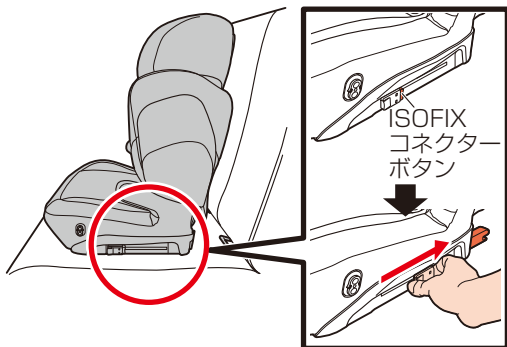
ISOFIX の
取付け方法

ポイント 車両側ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側ヘッドレストを最上段に固定するか、車両側ヘッドレストを外してください。

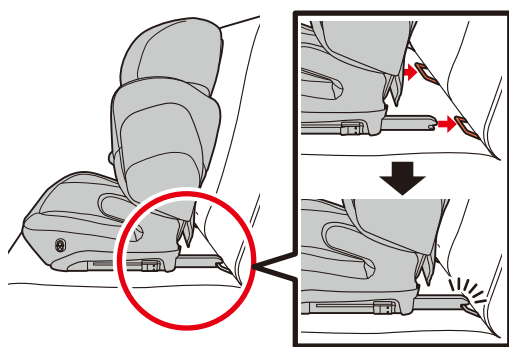
①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください(図 a 参照)。



ポイント ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用することでチャイルドシートが取付けやすくなります(図 a 参照)。※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合があります。その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。

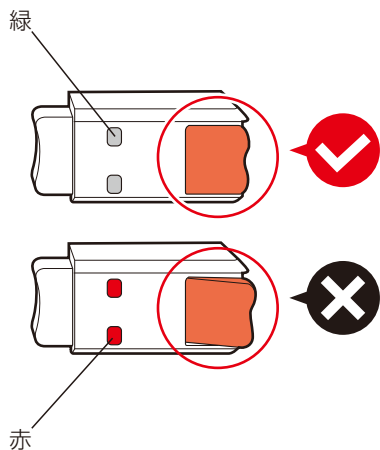


②ISOFIX コネクターボタンを押してコネクターを最大限まで引き出してください。

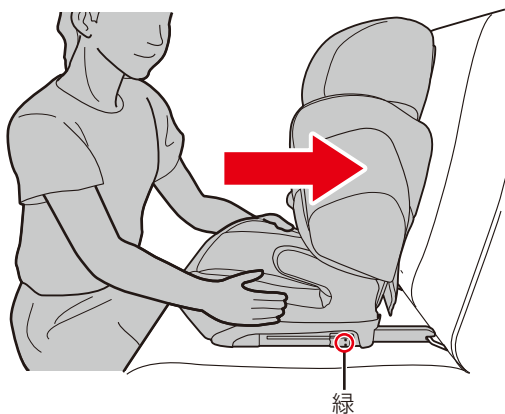


③ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに2本同時に「カチッ」と音がするまで真っ直ぐ差し込んでください。

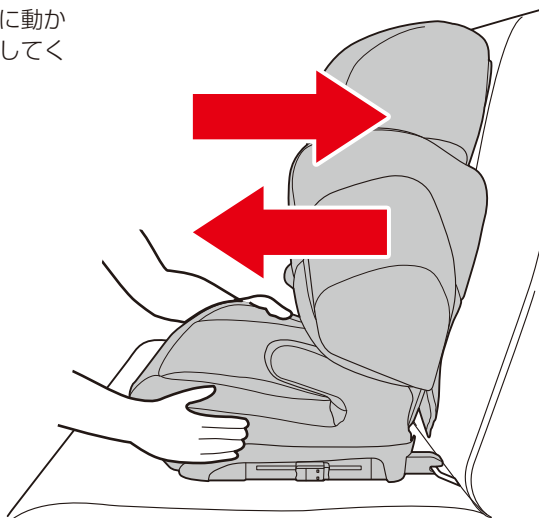
④ISOFIX インジケーターが2本とも「緑」になっていること、ISOFIX 解除タブが倒れていることを確認してください。



⑤「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へ密着するようにしっかり押し込んでください。



⑥チャイルドシート本体の左右を持ち前後に動かして、車両シートに固定されているか確認してください。



重要

チャイルドシートの左右を持ちながら、チャイルドシート本体が車両背もたれに接するまで強く押し込んでください。
※「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込む。

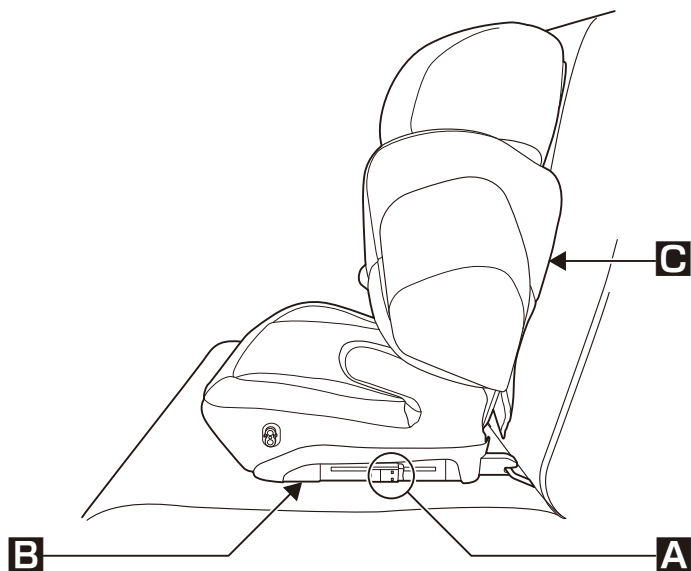


危険

安全のため、走行中お子さまが乗っていない場合も、必ず ISOFIX や車両シートベルトで固定してください。

チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが2本とも緑になっていること。
- A** ISOFIX 解除タブが倒れていること。
- B** チャイルドシート底面が、しっかりと座面に接していること。
- C** チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着していること。

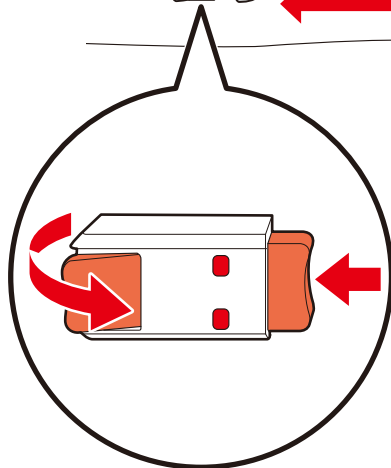
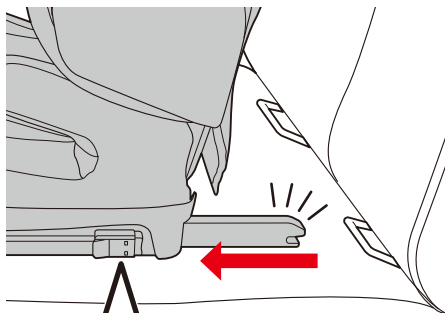
ISOFIX の取外し方法




▶ 動画で解説

ISOFIX の
取外し方法

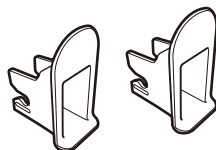
①左右の ISOFIX 解除タブを起こしながら、同時に ISOFIX コネクターボタンを押し ISOFIX コネクターを車両 ISOFIX バーから外してください。ISOFIX コネクターボタンを押しながら、本体側へスライドさせ、ISOFIX コネクターを本体に収納してください。



 **ポイント** ISOFIXのロックが解除されると、ISOFIXのインジケーターは「赤」にかわります。

 **注意**

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



ヘッドレスト

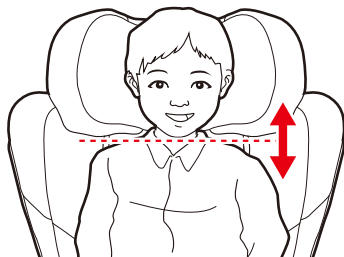
■ヘッドレストの位置は8段階で調節可能です■
お子さまの肩の高さにあわせて調節してください。



▶ 動画で解説
ヘッドレスト
の調節方法

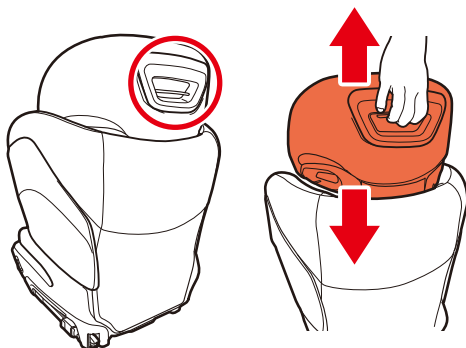
ヘッドレストの高さの目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安は肩ベルトガイドがお子さまの肩と同じ
高さになります。



調節方法

①本体上部にあるヘッドレスト調節レバー（赤丸部分）を持ち上げながら、ヘッドレストを上下に動かし正しい位置に調節してください。



②適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。



注意

ヘッドレストを調節する際は、手や指などははさまないように注意してください。



③ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。

お子さまの乗せかた

ISOFIX+ 車両シートベルトでの乗せかた



動画で解説

お子さまの乗せかた
ISOFIX+
車両シートベルト

使用条件

- お子さまの身長が 100cm ~ 150cm くらいまでであること。
- ※ 3歳半 ~ 12 歳ぐらいまで



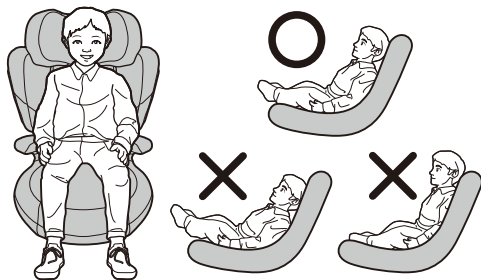
警告

- 本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
- ※ お子さまを乗せた状態で、お車に取付けないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX や車両シートベルトで固定してください。
- ※ 車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品が正しく車両に取付けできているか確認。

- ISOFIX コネクターが緑の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P 14 参照)
- ISOFIX 解除タブが倒れていること。
(ISOFIX の取付け方法 P 14 参照)
- チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着していること。
(ISOFIX の取付け方法 P 14 参照)

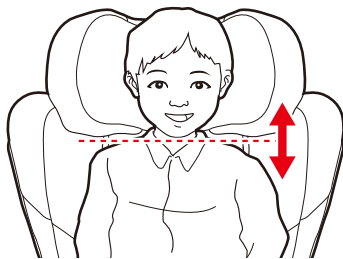
① お子さまを深く座らせてください。



注意

お子さまの背中とお尻が本製品の背もたれに密着するよう深く座らせてください。

② ヘッドレストをお子さまの肩の高さにあわせて調節してください。

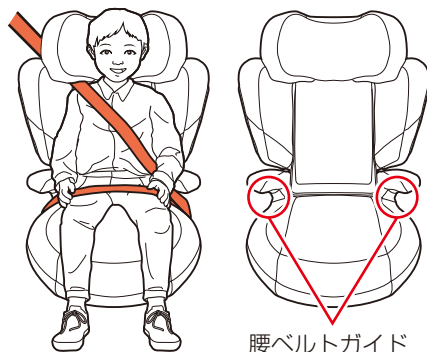


注意

ヘッドレストは肩ベルトガイドがお子さまの肩と同じ位の高さになるよう調節してください。

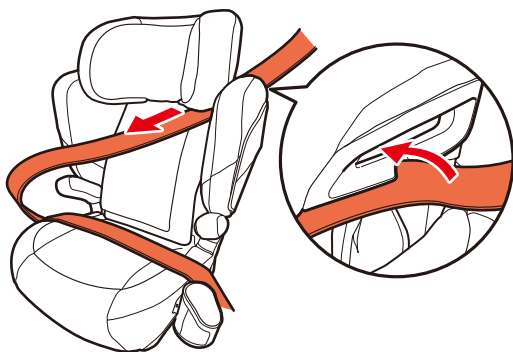
③車両シートベルト(腰ベルト)が左右の腰ベルトガイドを通るようにして車両バックルに差し込んでください。

※お子さまの骨盤の上に車両シートベルト(腰ベルト)を通してください。



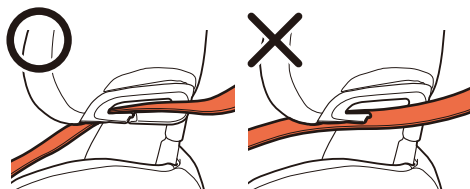
腰ベルトガイド

④車両シートベルト(肩ベルト)を肩ベルトガイドに通してください。

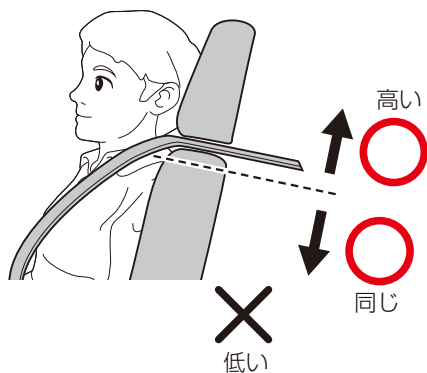


警告

車両シートベルト(肩ベルト)は必ず、肩ベルトガイドの中に通してください。



⑤ヘッドレストの高さ調節で車両シートベルト(肩ベルト)がお子さまの肩と同じ位の高さになるよう調節してください。



危険

- 車両シートベルト(肩ベルト)がねじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。

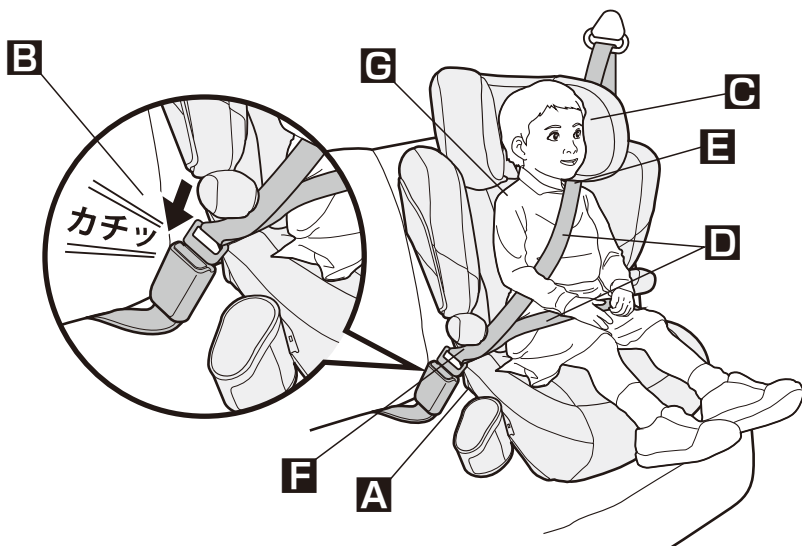


⚠ 注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を ISOFIX+車両シートベルトで固定してください。
※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。
※ISOFIX で固定している場合も必ず車両シートベルトで固定してください。

走行前のチェックリスト(ISOFIX+車両シートベルト)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが2本とも緑になっていること。
- A** ISOFIX 解除タブが倒れ「平行」になっていること。
- B** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- C** ヘッドレストが、適切な位置に調節されていること。
- D** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- E** 肩ベルトが、肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- F** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。
※お子さまの骨盤の上を通っていること。
- G** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するよう、座席に深く座っていること。



- お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。
- お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう注意してください。

車両シートベルトのみでの乗せかた



▶ 動画で解説

お子さまの乗せかた
車両シートベルト
のみ

使用条件

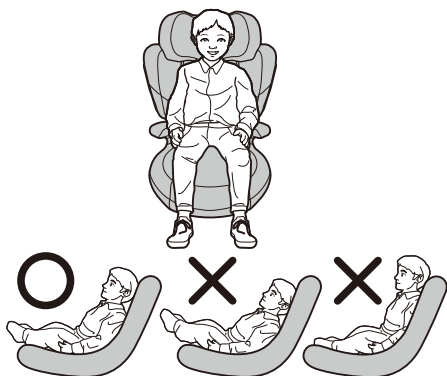
- お子さまの身長が 100cm ~ 150cm くらいまでであること。
※ 3歳半 ~ 12歳 くらいまで



警告

- 本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
- ※ お子さまを乗せた状態で、お車に取付けないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
- ※ 車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

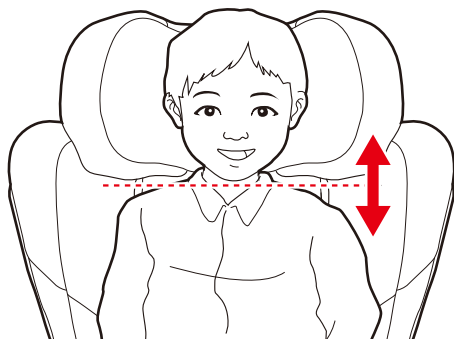
① お子さまを深く座らせてください。



注意

お子さまの背中とお尻が本製品の背もたれに密着するよう深く座らせてください。

② ヘッドレストをお子さまの肩の高さにあわせて調節してください。

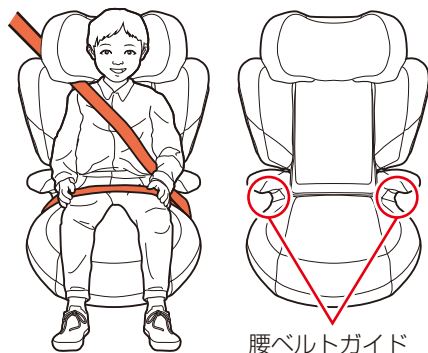


注意

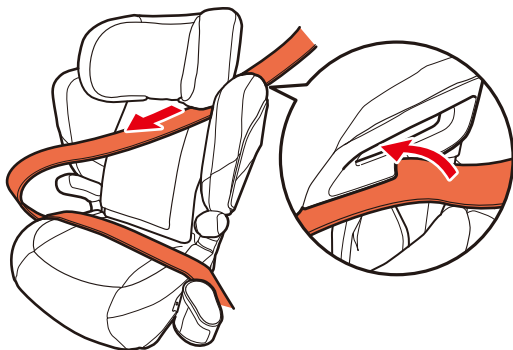
ヘッドレストは肩ベルトガイドがお子さまの肩と同じ位の高さになるよう調節してください。

③車両シートベルト(腰ベルト)が左右の腰ベルトガイドを通るようにして車両バックルに差し込んでください。

※お子さまの骨盤の上に車両シートベルト(腰ベルト)を通してください。

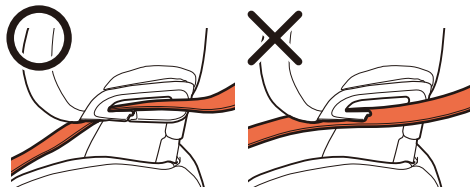


④車両シートベルト(肩ベルト)を肩ベルトガイドに通してください。

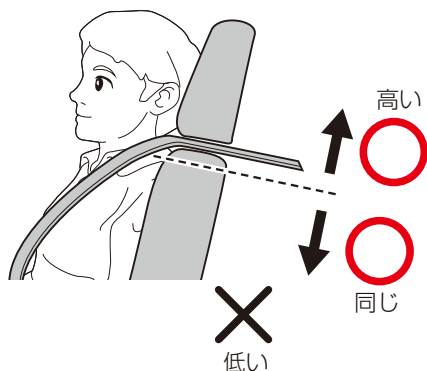


警告

車両シートベルト(肩ベルト)は必ず、肩ベルトガイドの中に通してください。



⑤ヘッドレストの高さ調節で車両シートベルト(肩ベルト)がお子さまの肩と同じ位の高さになるよう調節してください。



危険

- 車両シートベルト(肩ベルト)がねじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。



! 注意

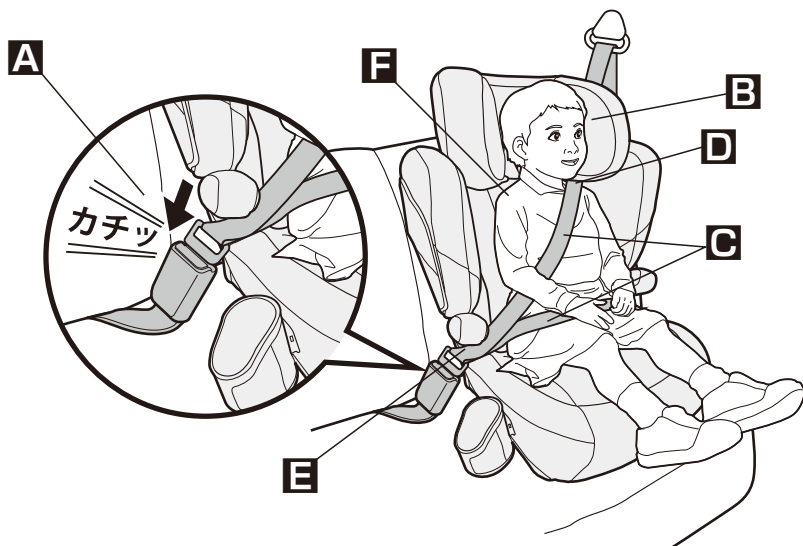
お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。
※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



ISOFIX を使用しない場合には、ISOFIX コネクタは一番縮めた状態で
ご使用ください。ISOFIX コネクタが突出した状態で使用すると車両
シートを傷つけてしまう可能性があります。

走行前のチェックリスト(車両シートベルト)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- B** ヘッドレストが、適切な位置に調節されていること。
- C** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- D** 肩ベルトが、肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- E** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。
※お子さまの骨盤の上を通っていること。
- F** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するよう、座席に深く座っていること。



警告

- お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。
- お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう注意してください。

シートカバーの取外し方法

ヘッドレスト



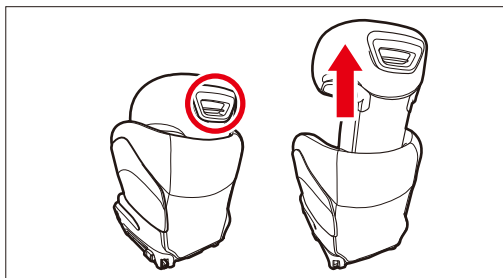
▶ 動画で解説

シートカバーの
取外し方法
ヘッドレスト

①ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げてください。

⚠ 注意

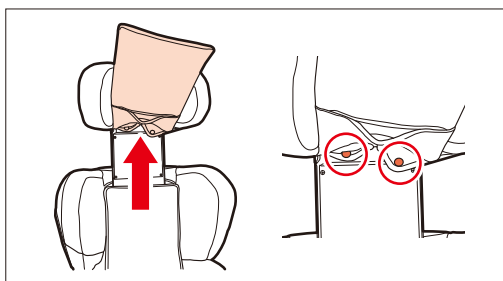
ヘッドレストを調節する際は手や指などをはさまないように注意してください。



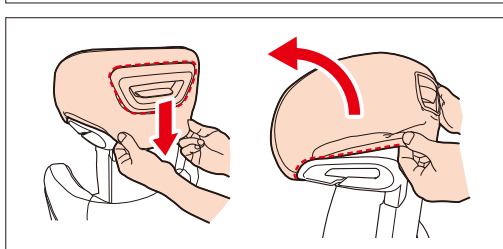
②背もたれカバーを持ち上げ、付根部分(赤丸)のスナップボタンを外してください。

⚠ 注意

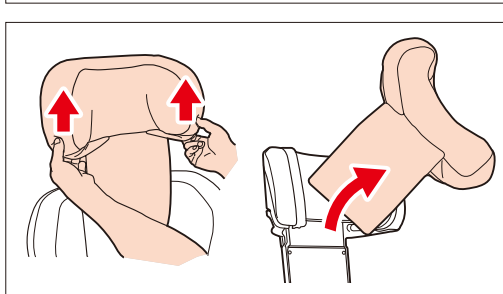
ボタンを勢いよく引っ張るとカバーが破れる可能性があります。
無理に引っ張らないようにしてください。



③ヘッドレスト調整レバーのまわりからカバーをゆっくり取外してください。
次に、肩ベルトガイドのまわりのカバーも取外してください。



④ヘッドレストカバーを上方向にめくり取外してください。





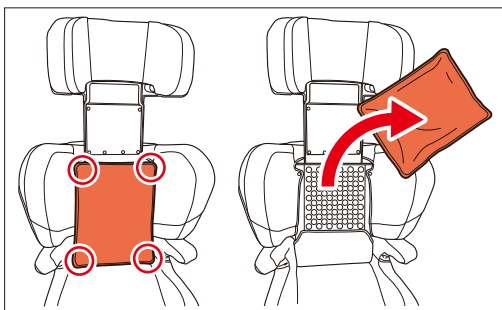
▶ 動画で解説

シートカバーの
取外し方法
背もたれ

⚠ 注意

- 作業中に本体が倒れる可能性がありますので周囲に注意しながら作業してください。
- カバーを取外す際、本体の樹脂部分で指や手などをけがさないよう注意してください。
- カバーを取外す際、無理に引っ張らないようにしてください。カバーが破れる可能性があります。

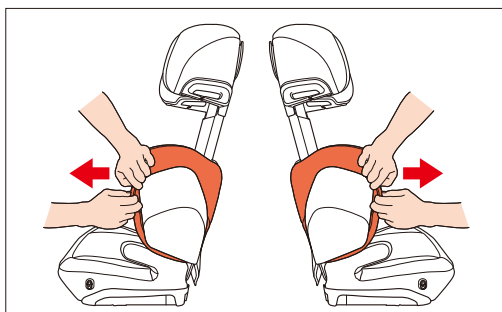
①背もたれクッション(赤丸)のスナップボタンを外し、クッションを取外してください。



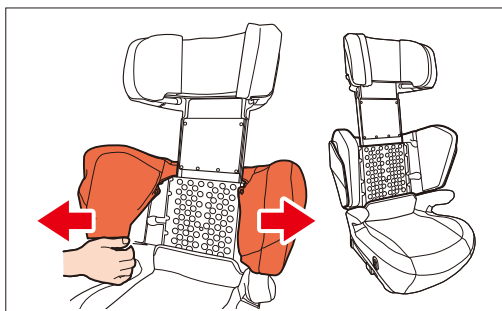
⚠ 注意

ボタンを勢いよく引っ張るとカバーが破れる可能性があります。
無理に引っ張らないようにしてください。

②サイドインパクトのまわりからカバーをゆっくり取外してください。
反対側のサイドインパクトのカバーも同様にゆっくり取外してください。



③サイドガードのカバーをゆっくり取外してください。
反対側のカバーも同様にゆっくりと取外してください。



ブースターシート

カバー取外し前の準備



▶ 動画で解説

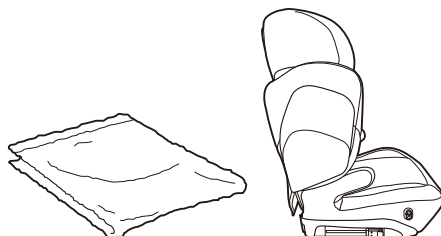
シートカバーの
取外し方法
ブースターシート

注意

● お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。
※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。
また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行なってください。

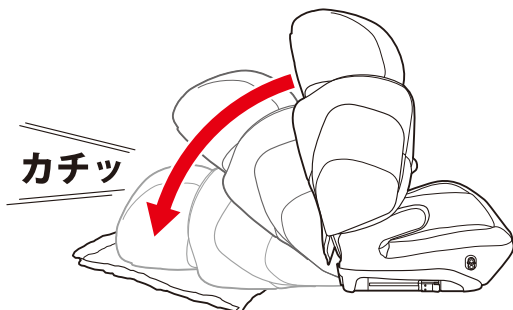
背もたれを倒す際は、勢いよく倒れます。

作業前に、床や背もたれが接する面にクッションや厚手のタオルなどを置いてから作業を行なってください。



背もたれの取外し方法

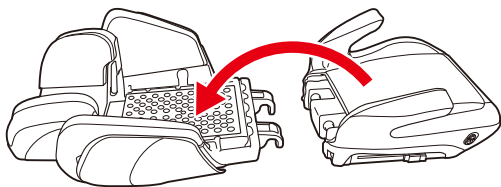
①ブースターシートを押さえながら、背もたれを後ろに倒してください。



ポイント

背もたれとブースターシートの取付けは固い仕様です。倒す際、勢いよく後ろに倒さないよう注意してください。

②背もたれとブースターシートのジョイント部を取外してください。



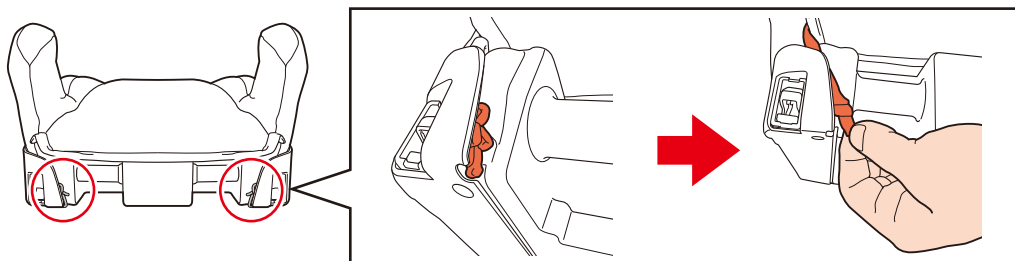
ポイント

取外しは背もたれを持ち上げるとスムーズに取外せます。

注意

取外した背もたれはお子さまの届かない場所で大切に保管してください。

③ブースターシートのジョイント部分下部にあるツメから、ゴムひもを取外してください。



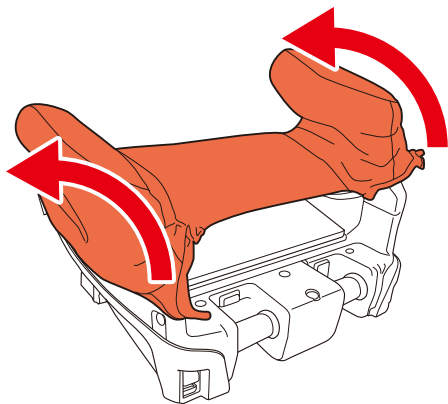
ポイント ゴムひもがツメから取外しにくい場合は、先の細いマイナスドライバーなどを使用してください。



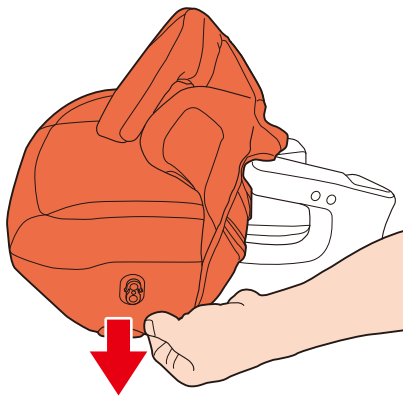
注意

ゴムひもが切れないように、無理に引っ張らないよう注意してください。

④カバーをめくり上げるようにしてアームレスト部分のカバーを取外してください。



⑤カップホルダー差し込み口のまわりからゆっくりカバーを取外してください。
※反対側のカップホルダー差し込み口も同様に取外してください。



注意

カバーを取外す際、無理に引っ張らないようにしてください。
カバーが破れる可能性があります。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



動画で解説
シートカバーの
取付け方法

背もたれの取付け方法

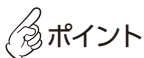
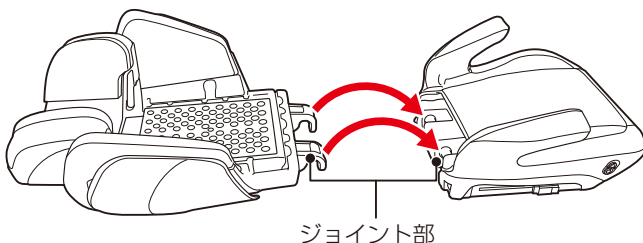


▶ 動画で解説
背もたれの
取付け方法

⚠ 注意

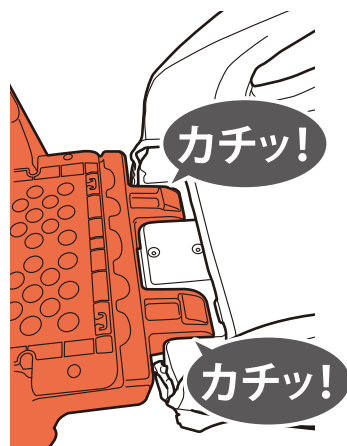
- お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。
※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。
また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行なってください。

①背もたれのジョイント部を、ブースターシートのジョイント部にあわせ、上からしっかりとめ込んでください。

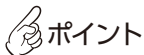


ポイント

カバーがはさまらないように注意してください。



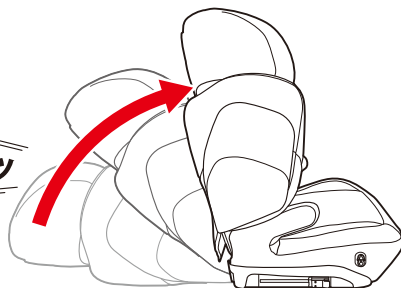
②固定されるまで背もたれを起こしてください。



ポイント

背もたれが起こしにくい場合は、カバーがはさまっていないか確認してください。

カチッ



⚠ 警告

背もたれとブースターシートのジョイント部にカバーがはさまっていると背もたれが突然外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お手入れ



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
シートカバーが縮む可能性がございます。必ず手洗いでお手入れしてください。

シートカバーの洗濯方法

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
手洗い後は、乾いた布で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



注意

背もたれカバー内の板は強くもみ洗いをすると破損する可能性があります。
洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを傷めるおそれがあり大変危険です。

本体のお手入れ方法

固くしぼった布で水ぶきしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

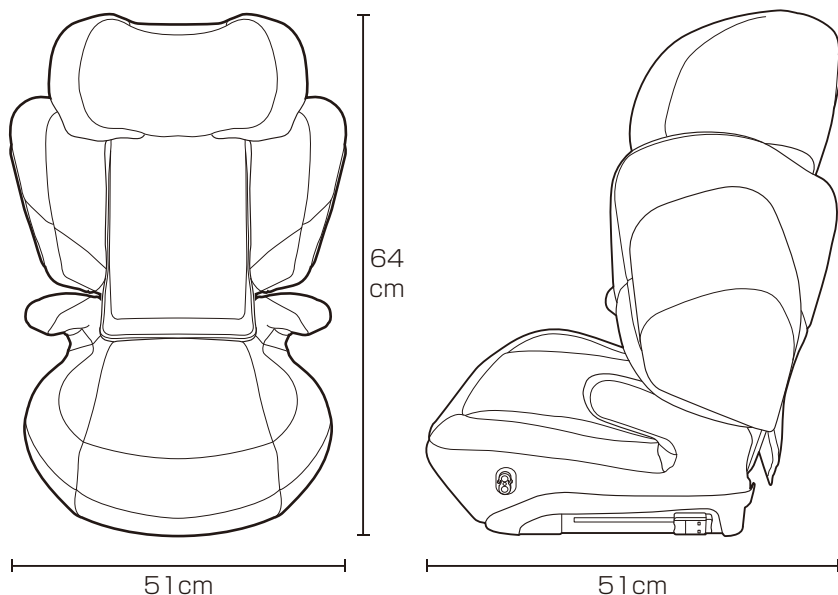
製品情報

本体サイズ

奥行：51cm

幅：51cm

高さ：64cm



材質

本体：HDPE(高密度ポリエチレン)／PP(ポリプロピレン)／EPS(ポリスチレン)

カバー：PE(ポリエステル)

サイドインパクト：PP(ポリプロピレン)

カップホルダー：PP(ポリプロピレン)

保管方法

- 安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- 本製品に重いものを置かないでください。
- 付属のカップホルダーも一緒に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- 衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- 再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。